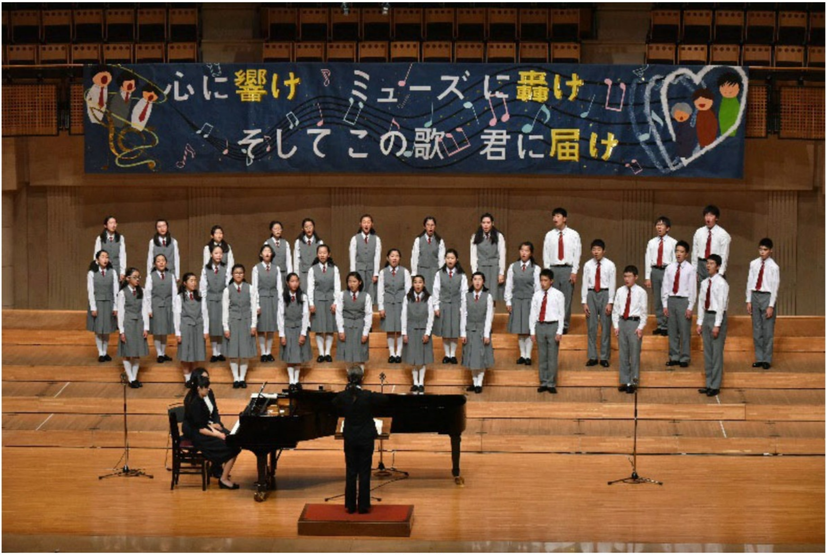
## 4.その他：２０１５年度南陵中学校合唱コンクール

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2015/11/19 (150 ヒット)

# １０月３０日（金）、市民文化センター「ミューズ」の大ホールで南陵中学校の合唱コンクールが開催されました

今年のスローガンは「心に響け、ミューズに轟け、そしてこの歌、君に届け」です。


心に響け　ミューズに轟け
そしてこの歌　君に届け

＜合唱部と有志＞

南陵中学校は、合唱部の実力は勿論のこと、生徒諸君全体の合唱レベルがかなりなものであることは、去年のコンクールを鑑賞して十分理解しておりましたが、期待通りの素晴らしいコンクールでした。

心に響け ミューズに轟け
そしてこの歌 君に届け

＜１年生＞

心に響け ミューズに轟け
そしてこの歌 君に届け

＜２年生＞

心に響け ミューズに轟け
そしてこの歌 君に届け

＜３年生＞

心に響け ミューズに轟け
そしてこの歌 君に届け

＜教職員の皆さん（指揮は校長先生）＞

金賞を獲得したのは、指揮者が細かく指示を出し、歌う側が声の強弱バランスを微妙にとっていたように聞き取れた３組かと思ったのですが、ピアノ伴奏が無く、声のまとまりが良かった４組でした。銀賞は、声のデリケートさと力強さが印象的であった５組でした。銅賞はありませんでした。

南陵中学校がこれほどまでに合唱レベルが高いのは、「心に響く合唱」を豊かな心を育むためのテーマとしているからなのでしょう。全校レベルの素晴らしい合唱は南陵中学校の伝統としてしっかりと根付いているようです。

教職員の皆さんの合唱も披露されました。生徒諸君の盛大な拍手に両者の心が通い合っているのが感じられ、微笑ましくも爽やかな気持ちになりました。

所沢松が丘自治会　副会長　桑原洋二郎

0コメント

## 4.その他：埼玉エコタウンプロジェクト「補助金相談会・エコ製品展示会」が開催されました

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2015/11/15 (158 ヒット

１１月１５日（日）松が丘中央会館にて「吾妻地区の

# もったない市」と併せて埼玉エコタウンプロジェクト「補助金相談会・エコ製品展示会」が開催されました。

当日は「吾妻地区のもったない市」来訪者（129名）から数多くの方が、エコ関連イベントにも参加されました。

特に、県の進める「みどりの再生」の一環として、エコアンケート回答者へのブルーベリー苗木プレゼントには多くの方の笑顔があふれておりました。今回初めてのエコ製品展示会では、各製品の補助金、回収期間等の説明がありました。

＜ブルーベリー苗木プレゼント＞

所沢エコタウン
マチエコ応援隊

＜エコ製品展示会＞

また、玄関には水素自動車の展示もあり皆さんも興味深く見入っておりました。

水素
Fuel Cell Vehicle
燃料電池車
埼玉県

＜水素自動車ミライの展示＞

＜小林会長も乗車＞

現在、３３件の補助金の申請（申請中も含む）があり、今後も増加が見込まれております。

今後の埼玉エコタウンプロジェクト関連イベントは、１１月２８日（土）の「カフェテラス松が

丘」など同時開催を計画しておりますので、多くの方の来場をお待ちしております。

広報担当理事　吉田

0コメント

## 4.その他：荒幡小学校２０１５年度校内音楽会

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2015/11/12 (210 ヒット

# １０月３１日（土）、荒幡小学校体育館で 校内音楽会開かれました

ご父兄の皆さんや近隣の皆さんが聞きに来られ、体育館は一杯でした。

<荒幡小学校２０１５年度校内音楽会>

プログラムは１～３年生の第１部と４～６年生の第２部に分かれていました。それぞれの学年が合唱と楽器演奏を披露しました。１部は低学年ですので、可愛らしい声が印象的でした。プログラムでは１、２年生の合唱は「うた」と書かれていました。まだ「合唱」の域には届いていないという事でしょうか。その点、第２部の上級生になると発声もしっかりとしてきており、特に５年生、６年生はハーモニーの美しさをよく表現できていました。

<1～3年生の第1部>

<4～6年生の第2部>

合奏では、リコーダーとピアニカを中心に、大太鼓、小太鼓、シンバル、タンバリン、木琴、マリンバ等を、低学年でも演奏しました。小柄な小年生が大きな大太鼓を叩く様は微笑ましい限りでした。6年生がアコーディオンを見事に演奏していたのには感心させられました。

<合奏>

<6年生がアコーディオンを見事に演奏>

演奏された曲は「サウンド・オブ・ミュージック」、「ドレミの歌」、「エーデルワイス」、「聖者の行進」、「スター・ウォーズ」など私でも知っているものの他に、「風になりたい」、「小さな勇気」、「幸せのリズム」、「TRUTH」など初めて聞く曲もありました。

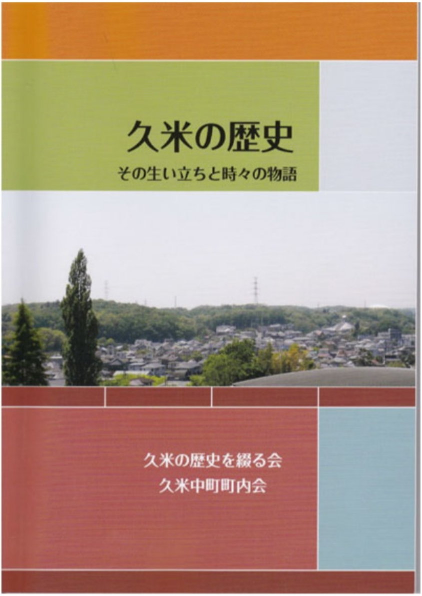
1部、2部合わせて2時間ほどでしたが、前日に南陵中学校の合唱コンクールを聞いてきたこともあって、小学生らしい可愛らしさフレッシュさに感動した音楽会でした。

所沢松が丘自治会　副会長　桑原洋二郎

## 4.その他：松が丘開発も記載された『久米の歴史』が久米中町町内会より出版されました

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2015/11/11 (305 ヒット

# 冊子『久米の歴史』“その生い立ちと時々の物語”が、久米中町町内会より出版されました



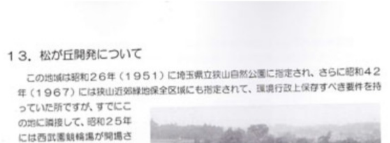
これは、私たち松が丘住民にも、身近なもので貴重な資料ですので、一度ご覧くださいますようご案内いたします。

本冊子は、所沢市久米中町の町内会事業として、平成25年度より実施している「茶飲み会（倶楽部）」で、中町在住の下田博之先生からのお話を切っ掛けに、久米の歴史冊子を作ろうと有志の皆さんが「久米の歴史を綴る会」を立ち上げ、このたび発刊されたものだそうです。

内容は、柳瀬川流域の縄文・弥生時代から奈良・平安・鎌倉・江戸時代へと時の流れに基づく、神社・仏閣から石造物・道路・川・橋に至るまで歴史を物語る貴重な資料が、写真で解り易く解説されています。

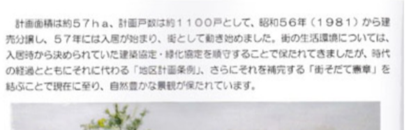
明治・大正・昭和・平成の現代についても、村の変貌から村人の生活・寺子屋・尋常小学校等々が、この地域で生活する姿がきめ細かく紹介されています。

そして、西武グループによって、昭和40年代から開発計画が進められた、久米の大谷たんぼや畑の宅地化と狭山丘陵の東端にある八国山山裾の宅地開発により『松が丘住宅の街づくり』が始まり、今日に至る迄の経緯が、身近な写真等の紹介で、解り易くまとめられております。

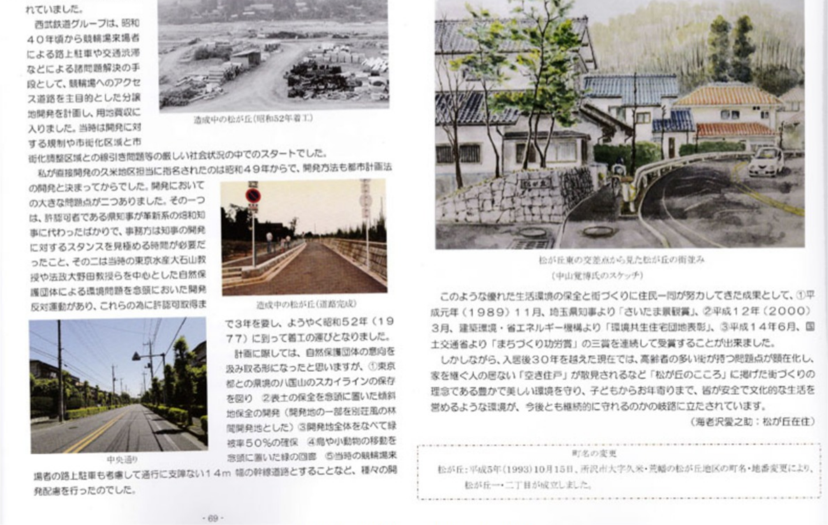


１３．松が丘開発について

この地域は昭和２６年（１９５１）に埼玉県立狭山自然公園に指定され、さらに昭和４２年（１９６７）には狭山近郊緑地保全区域にも指定されて、環境行政上保存すべき要件を持っていた所ですが、すでにこの地に隣接して、昭和２５年には西武園競輪場が開場さ



計画面積は約５７ｈａ、計画戸数は約１１００戸として、昭和５６年（１９８１）から建売分譲し、５７年には入居が始まり、街として動き始めました。街の生活環境については、入居時から決められていた建築協定・緑化協定を順守することで保たれてきましたが、時代の経過とともにそれに代わる「地区計画条例」、さらにそれを補完する「街そだて憲章」を結ぶことで現在に至り、自然豊かな景観が保たれています。



れていました。

西武鉄道グループは、昭和４０年頃から競輪場来場者による路上駐車や交通渋滞などによる諸問題解決の手段として、競輪場へのアクセス道路を主目的とした分譲地開発を計画し、用地買収に入りました。当時は開発に対する規制や市街化区域と市街化調整区域との線引き問題等の厳しい社会状況の中でのスタートでした。

造成中の松が丘（昭和52年着工）

私が直接開発の久米地区担当に指名されたのは昭和４９年からで、開発方法も都市計画法の開発と決まってからでした。開発においての大きな問題点が二つありました。その一つは、許認可者である県知事が革新系の畑和知事に代わったばかりで、事務方は知事の開発に対するスタンスを見極める時間が必要だったこと、その二は当時の東京水産大石山教授や法政大野田教授らを中心とした自然保護団体による環境問題を念頭においた開発反対運動があり、これらの為に許認可取得まで3年を要し、ようやく昭和５２年（１９７７）に到って着工の運びとなりました。

造成中の松が丘（道路完成）

中央通り

計画に際しては、自然保護団体の意向を汲み取る形になったと思いますが、①東京都との県境の八国山のスカイラインの保存を図り　②表土の保全を念頭に置いた傾斜地保全の開発（開発地の一部を別荘風の林間開発地とした）③開発地全体をなべて緑被率５０％の確保　④鳥や小動物の移動を念頭に置いた緑の回廊　⑤当時の競輪場来場者の路上駐車も考慮して通行に支障ない１４ｍ 幅の幹線道路とすることなど、種々の開発配慮を行ったのでした。

松が丘東の交差点から見た松が丘の街並み

（中山覚博氏のスケッチ）

このような優れた生活環境の保全と街づくりに住民一同が努力してきた成果として、①平成元年（１９８９）１１月、埼玉県知事より「さいたま景観賞」、②平成１２年（２０００）3月、建築環境・省エネルギー機構より「環境共生住宅団地表彰」、③平成１４年6月、国土交通省より「まちづくり功労賞」の三賞を連続して受賞することが出来ました。

しかしながら、入居後３０年を越えた現在では、高齢者の多い街が持つ問題点が顕在化し、家を継ぐ人の居ない「空き住戸」が散見されるなど「松が丘のこころ」に掲げた街づくりの理念である豊かで美しい環境を守り、子どもからお年寄りまで、皆が安全で文化的な生活を営めるような環境が、今後とも継続的に守れるのかの岐路に立たされています。

（海老沢愛之助：松が丘在住）

町名の変更

松が丘：平成5年（1993）10月15日、所沢市大字久米・荒幡の松が丘地区の町名・地番変更により、
松が丘一・二丁目が成立しました。

- 69 -

＜松が丘開発についての記載＞

松が丘に在住の皆さんは、全国各地からの転居入居者が殆どで、私たちが住む『松が丘の街』について、見聞きし知る機会にも大変適切な資料となることでしょう。こうした資料を抱えて『歴史・自然ふれあいウォーク』と言うフィールドワークによって、皆様の健康作りと故郷(ふるさと)となる吾妻地域の環境保全と発展に、お役立て出来るように、活用されることをお勧めいたします。

身近で貴重な資料として、松が丘自治会会員の皆様にご紹介させていただきます。見本の冊子は松が丘中央会館に展示してあります。希望者には、500円/冊で販売いたしますので、中央会館に置いてある申込用紙に記入して申し込みください。

所沢松が丘自治会　会長　小林　義一

0コメント

## 4.その他：第７回「飯能所沢線と市道の安全対策の経過報告」会が開かれました

投稿者：totoro2 投稿日時： 2015/11/07 (337 ヒット

# 第７回「飯能所沢線（２工区）開通に関する経過報告」会が開かれました。

会の進め方にあたり、吾妻地区町内会連絡協議会会長から、本日は2工区の暫定開通の遅れに関

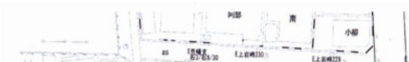
する経過報告会であり、これらに関する説明と質疑を行う旨説明された。

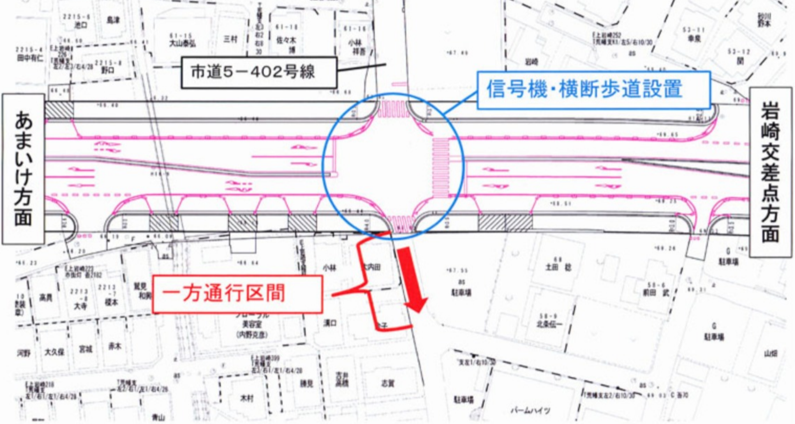
**出席者**　川越県土整備事務所、所沢警察署、所沢市役所関係者、
県議会議員、所沢市議会議員、吾妻地区町内会会長、
小・中学校長、小・中学校PTA関係者等（約６０名）
**日　時**　平成２７年１０月２８日（水）１４：００～１５：１０
**場　所**　吾妻まちづくりセンター

<飯能所沢線（２工区）開通に関する経過報告会>

**川越県土整備事務所（以下、川越県土）・所沢警察署より報告**

●昨年１２月の説明会以降に、地元住民から市道5-４０２号線との交差点に「通学路に信号が無くては渡れない」旨の強い要望で、平成２７年春の暫定開通が遅れている。信号機設置に関しては、地元の皆さんや警察署・市役所との話合いに時間を要した。平成２７年３月に行われた地元住民と市・県・警察との信号機設置に伴う話し合いで、用地確保等難しい課題の中で、一方通行区間の設置で対応することで決着し、信号機の設置待ちとなった。信号機設置が完了すれば、ほぼ同時期に暫定開通が可能と考えている。





<市道5-402号線との交差点詳細図>

**【質疑応答】**

　引き続いて、出席した関係者からの質疑応答が行われた。

**Q1．**警察署のお話では、完成時期がはっきりしていないが、いつになるのか？
**A1．**信号機の設置には、県警は公安委員会の承認を得た上で取りまとめるために、決定後２～３ヶ月は要する見込み。完成時期のお約束は出来ないが、１１月中か末ごろに決定する予定であるので、**年度末までには完成できる見込み**。

**Q2．**通学路指定の時期もあり、完成時期の情報を早く開示されたい。
**A2．**意見であり、上記に対する回答はなし。

**Q3．**一方通行の条件となった道路幅が用地買収により5.5m確保できれば、一方通行はしなくてよいのか？
**A3．**一方通行にしなくてもよい。

**Q4．**７月１９日以降に土地所有者と用地買収のお話合いは行われたのか？
**A4．**行なっていない。

**Q5．**交渉を続けるべきではないか？
**A5．**交渉を続けながら、一方通行の同意を得ることは難しい。土地の問題は非常に難しいために、安易に話を進められないため、ご理解いただきたい。（川越県土）

**Q6．**信号機完成時期に合わせて、関連工事を完成することは可能か？
**A6．**県としては、信号機設置に合わせて関連工事を実施することは可能と考えている。（川越県土）

**Q7．**暫定開通後の子どもたちの安心・安全対策は、一定の改善は出来たと思うが、所沢村山線の

進捗状況はどうなっているのか？
**Ａ７．** 平成２５年度に測量を実施した。今後、事業に必要な調査を実施するためには、調査箇所の用地取得をはじめ、様々な課題があり、具体的な調査は行われていない。

**Ｑ８．** そうした状況下では、今後何十年もかかる。市長との約束後の3年間は、ほとんど何もしていないに等しいのではないか？
**Ａ８．** 今後も出来る範囲での調査を検討していきたい。

**Ｑ９．** 所沢村山線が進められなければ、大六天交差点や岩崎交差点で、大型車両の他にも生活道路への通過車両の絞り込みを、看板等を設置し、交通量の減少を図るための施策を施すことが出来るが、そうした考えはないのか？
**Ａ９．** 交通対策については、これまでの説明会の中で、川越県土が答えている旨の説明があり、本日の報告会を終了した。

所沢松が丘自治会　会長　小林義一

**0コメント**